

## 奄美群島枝手久島から得られたゴキブリ類の記録

柳澤静磨<sup>1</sup>・波多野幸希<sup>2</sup>・小松拓実<sup>3</sup>・藤川浩明<sup>4</sup>・青井光太郎<sup>5</sup>

<sup>1</sup> 〒 438-0214 静岡県磐田市大瀬 320-1 磐田市竜洋昆虫自然観察公園

<sup>2</sup> 〒 378-0002 群馬県沼田市

<sup>3</sup> 〒 903-0117 沖縄県中頭郡西原町

<sup>4</sup> 〒 905-0212 沖縄県国頭郡本部町

<sup>5</sup> 〒 192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 東京都立大学動物系統分類学研究室

### Abstract

Seven Blattodea species were recorded from Edateku-jima Island, Amami Islands.

### はじめに

枝手久島(図1)は奄美大島西部の焼内湾の湾口に位置する無人島である。同島からのゴキブリ類の記録は柳澤ら(2024)によるアカボシルリゴキブリ *Eucorydia tokaraensis* Yanagisawa, Sakamaki & Shimano, 2020 のみが知られており、詳細なゴキブリ相は不明であった。今回、筆者らは枝手久島から得られたゴキブリ類の標本を検討し、新たに7種のゴキブリ類を確認したのでここに報告する。

### 材料と方法

写真はデジタル一眼カメラ(OM SYSTEM OM1)にマクロレンズ(M. ZUIKO DIGITAL ED 60-mm f/2.8 Macro lens)とフラッシュ(LAOWA Macro Twin Flash KX-800)を装着して撮影した。標本は乾燥標本として保存した。また、本研究で用いた標本は全て奄美群島枝手久島で採集され、磐田市竜洋昆虫自然観察公園(RINOP)もしくは著者の柳澤が保管している。

### 結果

*Periplaneta suzukii* Asahina, 1977

### スズキゴキブリ(図2A)

**確認標本** 1雄, 2024年4月30日, 波多野幸希採集(RINOP-94)。

**同定** 全体の色彩が淡い褐色であること、肛上板は円味を帯びて広く二叉することなどが朝比奈(1991)に示されたスズキゴキブリの特徴と一致したため本種と同定した。

### *Episymploce amamiensis* Asahina, 1977

#### アマミモリゴキブリ(図2B)

**確認標本** 2雄, 2024年4月29日, 小松拓実採集(RINOP-95, 96)。1雄, 2024年4月30日, 波多野幸希採集(RINOP-97)。

**同定** 前胸背板に一对の三角形の黒紋があること、肛上板は中央で裂けることなどが朝比奈(1991)に示されたアマミモリゴキブリの特徴と一致したため本種と同定した。

### *Blattella lituricollis* (Walker, 1868)

#### ヒメチャバネゴキブリ(図2C)

**確認標本** 1雄, 2024年4月29日, 小松拓実採集(RINOP-98)。

**同定** 前胸背板の黒条紋は細いがきわめて明瞭であること、雄の第8腹節背板の後縁は円弧を

Yanagisawa S., K. Hatano, T. Komatsu, H. Fujikawa and K. Aoi. 2025. Collecting records of Blattodea from Edateku-jima Island, Amami Islands, southwestern Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 211-214.

☑SY: Ryuyo Insect Nature Observation Park, 320-1 Oonakaze, Iwata, Shizuoka 438-0214, Japan (e-mail: yokoyama070821@gmail.com). Received: 12 February 2025; published online: 16 February 2025; [https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK\\_051/051-045.pdf](https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-045.pdf)

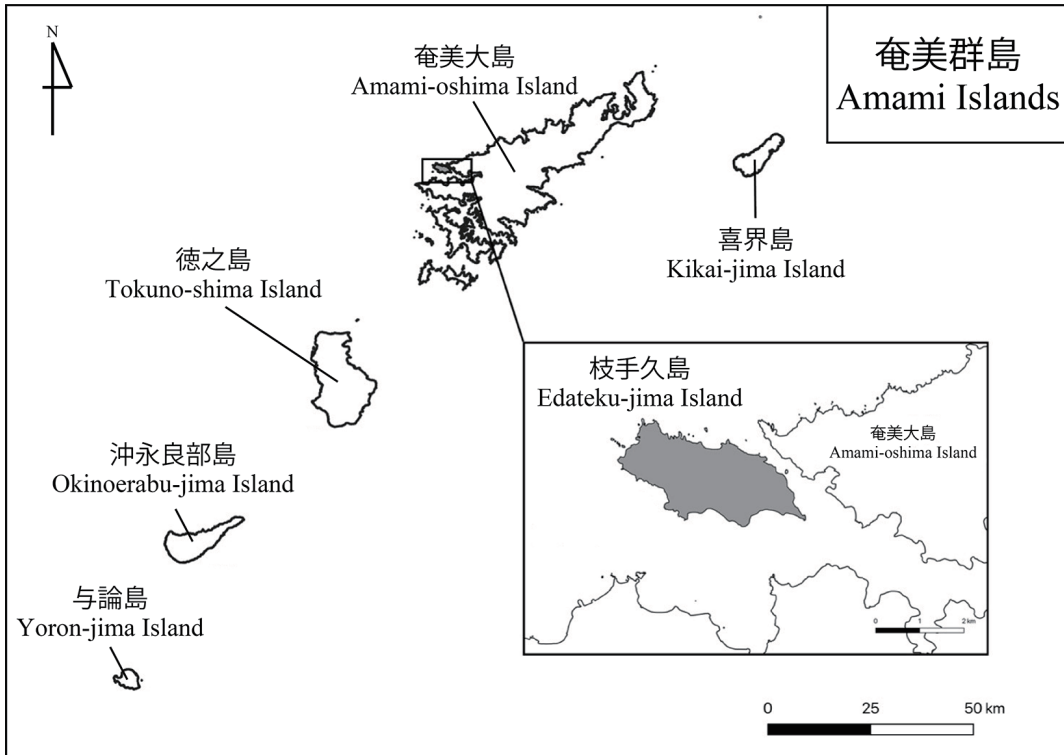


図1. 奄美群島枝手久島の位置。

Fig. 1. Location of Edateku-jima Island, Amami Islands.

なし中央で切り込まないことなどが朝比奈(1991)に示されたヒメチャバネゴキブリの特徴と一致したため本種と同定した。

### *Perisphaerus pygmaeus* Karny, 1915

#### ヒメマルゴキブリ (図 2D)

**確認標本** 1 雌, 2024 年 4 月 29 日, 小松拓実採集 (RINOP-99). 1 雄. 2024 年 4 月 30 日, 藤川浩明採集 (柳澤保管). 1 雌幼虫, 2024 年 7 月 14 日, 青井光太郎採集 (柳澤保管).

**同定** メス成虫は球状に丸まること, オス交尾器は朝比奈 (1988a) に示されたヒメマルゴキブリの交尾器の形状に一致することから本種と同定した。

### *Salganea taiwanensis ryukuanus* Asahina, 1988

#### リュウキュウクチキゴキブリ (図 2E)

**確認標本** 1 雄, 2024 年 4 月 30 日, 波多野幸希採集 (RINOP-100).

**同定** 成虫は長い翅を持つ (基部を残して欠損している個体もある) こと, 肛上板の後縁には歯状突起を持つこと, オス交尾器の L2D はとがり, その付属枝もとがって発達すること, R2 は鉤状であることなどが朝比奈 (1988b; 1991), 旭ら (2016) に示されたリュウキュウクチキゴキブリの特徴に一致していたため本種と同定した。

**備考** 朝比奈 (1988b) は台湾クチキゴキブリ *Salganea taiwanensis* の奄美大島, 徳之島, 沖縄本島に生息する個体群を大きさや体色, オス交尾器の形状などを元にリュウキュウクチキゴキブリ (台湾クチキゴキブリ沖縄・奄美群島亜種) として記載した。しかしながら, Maekawa et al. (1999) が行った研究では DNA を用いた検討結果と朝比奈 (1988b) の区分が対応していなかったとしている。今後, 本種の亜種区分については詳細に検討する必要があるだろう。

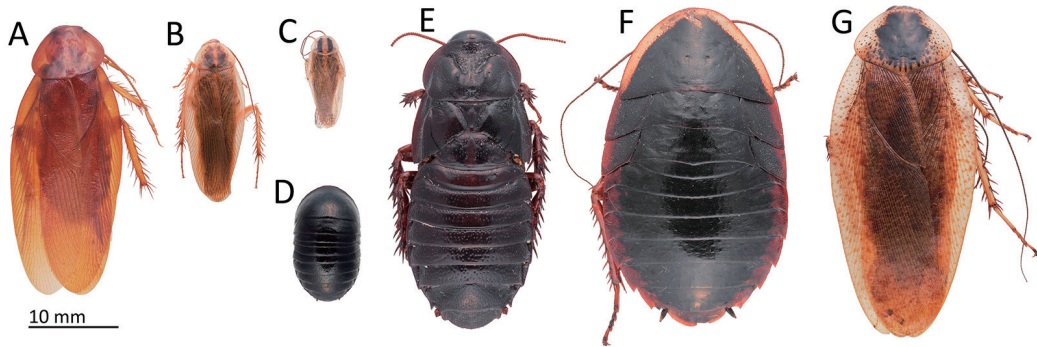


図2. 枝手久島で得られたゴキブリ類. A, スズキゴキブリ *Periplaneta suzukii* Asahina, 1977. B, アマミロゴキブリ *Episymploce amamiensis* Asahina, 1977. C, ヒメチャバネゴキブリ *Blattella lituricollis* (Walker, 1868). D, ヒメマルゴキブリ *Perisphaerus pygmaeus*. E, リュウキュウクチキゴキブリ *Salganea taiwanensis ryukuanus* Asahina, 1988. F, サツマゴキブリ *Opisthoptlatia orientalis* (Burmeister, 1838). G, マダラゴキブリ *Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki, 1906).

Fig. 2. Blattodea species collected from Edateku-jima Island. A, *Periplaneta suzukii* Asahina, 1977. B, *Episymploce amamiensis* Asahina, 1977. C, *Blattella lituricollis* (Walker, 1868). D, *Perisphaerus pygmaeus*. E, *Salganea taiwanensis ryukuanus* Asahina, 1988. F, *Opisthoptlatia orientalis* (Burmeister, 1838). G, *Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki, 1906).

### ***Opisthoptlatia orientalis* (Burmeister, 1838)**

#### **サツマゴキブリ (図2F)**

**確認標本** 1雄, 2024年4月30日, 小松拓実採集 (RINOP-101). 1雌, 2024年4月30日, 波多野幸希採集 (RINOP-102).

**同定** 前胸背板前縁に黄~白色部を持つこと, 前後翅共に小さく鱗状であることなどが朝比奈 (1991), 旭ら (2016), 小松・伊藤 (2023) に示されたサツマゴキブリの特徴と一致していたため本種と同定した.

### ***Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki, 1906)**

#### **マダラゴキブリ (図2G)**

**確認標本** 1雄, 2024年4月30日, 波多野幸希採集 (RINOP-103).

**同定** 前額斑が頭楯に達しないこと, 前胸背板に大きな黒色斑を持つことなどが朝比奈 (1991), 旭ら (2016), 小松・伊藤 (2023) に示されたマダラゴキブリの特徴に一致していたため本種と同定した.

**備考** 旭ら (2016) によると, 前胸背板の大きな黒色斑はときにほぼ消失する個体もあるとされている. 今回検討した個体は斑紋が明瞭であっ

たため同定の根拠の一つとしたが, 留意が必要である.

### **考 察**

枝手久島からは今回の報告を含め合計8種のゴキブリ類が記録された. これらの8種は奄美大島にも共通している種であり, 枝手久島のゴキブリ相は奄美大島のゴキブリ相に近いと考えられる. ワモンゴキブリ *Periplaneta americana* (Linnaeus, 1758) やトビイロゴキブリ *Periplaneta brunnea* Burmeister, 1838, チャバネゴキブリ *Blattella germanica* (Linnaeus, 1767) などの屋内害虫として知られる種がこれまで確認されていないのは, 枝手久島が無人島であるため人為的移入や定着をしていないことが理由である可能性があり, 今後, より詳細な調査が必要であると考えられる.

### **引用文献**

- 旭 和也・遠藤拓也・小松謙之. 2016. ゴキブリ類. 日本直翅類学会 (編), 日本産直翅類標準図鑑: 206-227 pp. 学研プラス, 東京.
- 朝比奈正二郎. 1988a. 日本産ゴキブリ類分類ノート XVI. マルゴキブリ属の2種類. 衛生動物, 39(1): 35-41.
- 朝比奈正二郎. 1988b. 日本産ゴキブリ類分類ノート XVIII. クチキゴキブリ属の種類. 衛生動物, 39 (3) : 257-265.
- 朝比奈正二郎. 1991. 日本産ゴキブリ類. 253 pp. 中山書店, 東京.

小松謙之・伊藤ふくお. 2023. 日本産ゴキブリ全種図鑑. 190 pp. 北海道大学出版会, 北海道.

Maekawa K, N. Lo, O. Kitade, T. Miura and T. Matsumoto. 1999. Molecular phylogeny and geographic distribution of wood-feeding cockroaches in East Asian Islands. *Molecular Phylogenetics and Evolution*, 13: 360–376.

柳澤静磨・小松拓実・藤川浩明・波多野幸希・大北祥太郎・池田 大. 2024. 奄美群島枝手久島・加計呂麻島・与路島におけるアカボシルリゴキブリの初記録. *Nature of Kagoshima*, 51: 199–201.